

夢は必ず叶う!



長浜プロレス 代表
エル・ヒキヤマ

ひらい よしのり
平居 由宣さん(元浜町)

「長浜クローバーホール」で鍛え上げられた身体から繰り出す大技で、観客を沸かせる長浜プロレスのヒーロー「エル・ヒキヤマ」。平居さんは、長浜プロレスの代表として団体を率い、看板レスラーとしてリングに上がります。

プロレスにのめり込んだのは父親の影響。プロレス団体への入団には厳しい体格基準があった時代でしたが、基準がない新団体への参加を機に、プロレスラー活動が始まります。

プロレスから離れる時期もありましたが、長浜曳山祭を盛り上げるためのヒーローショーに出演した際に、「大好きなプロレスを活かして長浜や曳山祭を盛り上げたい」という思いに目覚めます。そして知人らに呼びかけ平成29年に「長浜プロレス」を結成。イベント開催に向け、様々な催しで周知活動を行ったことが実を結び、ついに一昨年6月にプレ旗揚げイベントを開催します。「プロレスが根付いて

いない長浜で受け入れてもらえるか」という不安もありましたが、年齢的なことも考え、今しかない旗揚げを決意。いざ開催してみると、多くの観客で賑わい、迫力あるパフォーマンスに会場は大盛り上がり。開催後、各メディアや周囲からの反響は大きく、サインを求められることも。人並外れた屈強な体格からは想像もできない「ガラスアート講師」という意外な一面を持つなど、幅広い分野の人脈によって協力者は増え、5人だったメンバーは今や選手とスタッフ合わせて21人を数えます。

しかし、活動を本格化させたいと意気込んでいた昨年は、予定していたイベントが新型コロナウイルスの影響で全て中止。開催できない歯がゆさに苦しみますが、少しでも情報を伝えていこうと動画やSNSで発信し続けます。

また、開催できない期間も地道な練習や準備を続け、約10か月の期間を経てついにイベントを開催。念願が叶った嬉しさを噛みしめつつも「これからもプロレスを通して皆さんが楽しめるイベントで、長浜を盛り上げたい」と先を見据えます。

50歳を迎えた今もなお、エネルギーシユな平居さん。「身体を鍛え続けてきたから今もプロレスができています。夢は必ず叶うと伝えたい」と情熱を燃やし続けます。



長浜小学校

感謝の心を育む

創立150周年に向けて

本校では、「輝く瞳・はずむ声」「笑顔があふれる学校」を合言葉に日々教育活動に取り組んでいます。その中でも、「人の話をしっかりと聴く」「さわやかなあいさつをする」などを、長小スタンダードとして取り決め、凡事徹底に努めています。

また今年度、児童会では、昇降口に掲示する「長小のみんなにたくさん使ってほしい言葉(ふわふわ言葉)」を全校に募集しました。その結果、「えがおでいよう!」「ファイト!」「やればできる!」「ありがとう!」「がんばれ!」の5つの言葉に決まり掲示しました。



▲「ふわふわ言葉」の掲示

にしていきたいと考えています。そこで、本校後援会をはじめ、関係の皆さんが実行委員会を立ち上げ、各部会に分かれて準備を進めていただいています。10月30日に「創立150周年記念式典」を開催し、お祝いすることに決定しました。これからは長浜小学校の伝統を大切に、社会に貢献できる人を育てていきたいと思えます。

本校は、1871年(明治4年)9月9日に「滋賀県第一小学校」として創立され、令和3年9月9日めでたく創立150周年を迎えます。この機会に、これまで本校を支えていただいた地域や関係の皆さんに感謝するとともに、この150周年を振り返り、一緒にお祝いする機会

長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～

- 元気にあいさつをします
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 困っている人がいたら言葉をかけます
- 人の話をしっかりと聞きます

長浜子育て憲章～おとなが実践します～

- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます

学校・教育関係の情報が満載
市教育委員会フェイスブック

人口と世帯数
令和3年2月1日現在

人口	116,812人(-28)
男	57,239人(+15)
女	59,573人(-43)
世帯数	46,532世帯(+66)

()は前月との比較

長浜市の情報をスマホでチェック

長浜市 ホームページ	Facebook 長浜市ほっとにゅ～す	Facebook 長浜市教育委員会	Instagram ＃長浜ちよびつく	YouTube はま～るtb.	広報紙をスマホで マチイロ	イベント情報を配信 LINE

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパー、診療所などにも置いています。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は市民広報課まで。